

# 拝見!

全国消防署

Vol.3

Kawaguchi City Fire Department  
Kawaguchi City East Fire Station

川口市消防局

# 川口市東消防署

NEW  
2023.4.1  
OPEN!



川口市東消防署の開署は、令和5年4月1日。従来、川口市の消防体制は、2署体制（南消防署・北消防署）で管轄していましたが、災害や事故の多様化・大規模化、都市構造の複雑化に対応するため、市内で3つ目の消防署として東消防署を整備。オープンして間もない最新庁舎の役割についてタレント・防災士の時東あみさんが迫りました。



時東 あみさん

(株)サンミュージックプロダクション所属。タレント、ラジオパーソナリティ、防災士、上級救命講習修了の資格を持ち、防災や救助活動に同心が高く、自身の番組で特集を組んだり、同連イベントにも積極的に参加。

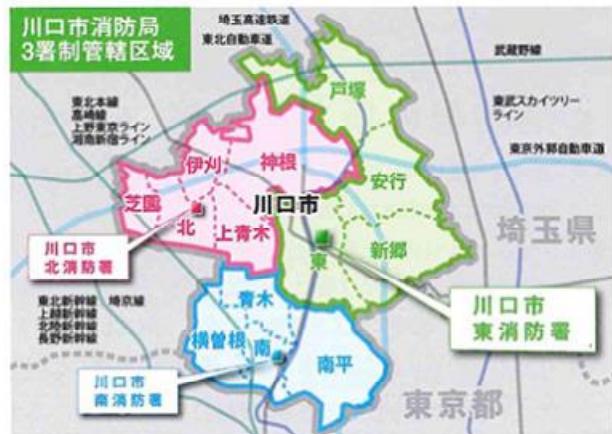
## 川口市の中心部に位置する地理的優位性を生かした消防署へ。

**時東** 市内で三つ目の消防署として、開署して間もない川口市東消防署ですが、管轄する地域の特徴を教えていただけますか。

**皆川** 市内の主な商業地域であるJR川口駅周辺とは異なり、機械工業を中心とした新郷工業団地を管轄する新郷分署、植木を中心とする花卉生産や造園といった緑化産業が盛んな安行地域を有する安行分署、また、新興住宅が立ち並び人口増加地域を管轄する戸塚分署、さらには日光御成道の宿場町であった鳩ヶ谷宿を有し、歴史的な建造物が残る鳩ヶ谷地域を含めた、それら一帯を管轄するのが東消防署となります。

**時東** 多様な産業を持つ地域に生まれた災害活動拠点なのですね。

**貴井** 前身の旧鳩ヶ谷市消防本部庁舎は昭和42年に竣工しましたが、平成23年に川口市と合併後には鳩ヶ谷分署となり、市内の災害活動拠点として機能してきました。川口市は従来、南消防署と北消防署の2署で消防体制を維持してきたのですが、60万人の人口を有する都市を管轄する川口市消防局としては、消防署の数が少ないことや、災害への対応力をより強固なものとするため、市の中心部に位置する地理的な優位性を生かすために鳩ヶ谷分署を格上げし、市内三つ目の新たな消防署として東消防署を整備することとなりました。



次頁へつづく▶

## 多様な産業構造、人口増など 地域の特色に即応する消防体制を。

**増田** 冒頭に東消防署が管轄する地域の特徴について話がありましたが、4つの地区は産業や都市構造が異なるため、地域の実情に即した迅速・的確な消防活動を展開しなくてはなりません。具体的には鳩ヶ谷地区は坂が多い土地柄、新郷地区は工業団地の中に宅地も混在し道路が狭い。安行地区は植木の街ですが新興住宅も増えてきています。戸塚地区はJR武蔵野線に加え埼玉高速鉄道が運行され、道路も新たに整備されて市内で最も人口が増加している地区になります。災害発生時にはそれぞれの地区に応じた、機動力のある救助救命活動が求められています。

**時東** 本当にいろんな顔をもった地域ですね。広域かつ複合的な災害発生時には、どのような体制で活動に臨んでいるでしょう。

**坂上** 川口市東消防署が新たに整備された背景は、市内人口の増加が要因の一つですが、近年の災害や事故の多様化、大規模化、及び都市構造の複雑化に対応する消防体制を確立することにありました。具体的な取り組みとしては指揮隊の増隊です。市の中心部に位置する地理的優位性を生かすことで、管轄内のみならず、市全体を見据えて現場到着時間の短縮を図るとともに、指揮隊の二隊同時出動が可能な体制を整えています。部隊の統制能力が向上したこと、市民に対してはより効果的な被害の軽減につなげ、複雑多様化する災害への即応能力が強化されるものと考えています。



## 安全安心のまちづくりと 充実の市民サービスを両立。

**時東** 地域住民との日常生活における関係性に変化などはありますか。

**坂上** 分署機能から格上げされ消防署機能が拡充されたことで、日勤の事務を担う管理課を新たに設置しました。有事の際の現場活動だけでなく予防面での立入検査等の査察体制、火災予防体制の強化、届出窓口の充実で、安全安心なまちづくりの推進と市民サービスの向上につなげています。

**時東** 新しい庁舎としての特徴についてお話を伺いたいと思います。最新の施設ならではの独自性、優位性は多いのでしょうか。

**貫井** 庁舎は地下1階、地上4階の構造となっています。設備の特徴の一つに地下ピットを活用した放水訓練スペースの整備が挙げられます。放水する訓練用水には井水を活用し、あえて狭隘な空間としたり、はしごを使った進入など活動障害を意図的に作り上げて有意義な訓練を行えます。また、地下は危険物管理施設として軽油を3000ℓ貯蔵し、燃料等は屋上へ送れる仕様としました。屋上には950ℓのサービスタンクに一時貯留し、非常時には自家発電用に供給するなど大規模災害時に運用できる仕組みとなっています。また災害発生時、協定締結油事業所が機能不全に陥った際には消防車両への緊急的措置として、地下タンクから直接給油できる「災害用ポータブルディスペンサー(給油機)」も導入しています。

**時東** 市民の安全を守り抜く堅牢な要塞でありながら、有事の際の機動力があらゆる角度から確保されている、先進的な消防署ですね。

**貫井** また、新型コロナウイルスのような、感染症等が蔓延し、事務所への立ち入りが制限された場合にも、3階事務所に上がることなく、玄関ホールでも簡易な届け出、打ち合わせに対応できるブースも設置するなど市民への利便性向上にも努めています。

## まちの安全安心を担う拠点として 消防署の新たなイメージをも醸成。

**時東** 地域住民の日常生活に配慮しながら、施設の空間を有効に使って訓練されていることも印象的でしたし、画期的な消防施設ですね。

**皆川** 1階のトイレは困った時に住民の方が利用できるよう、日中は、正面玄関を開放しています。また、庁舎は夜間でも市民に安心を届けるよう「行燈」をイメージした外観デザインに。庁舎全体が地域との融合に配慮しつつ、照明にも工夫を施して安心を醸成しています。

**時東** 市内の中心部にある消防署として、確かな存在感とともに地域全体に安心を届ける象徴的なアイコンになっているんですね。

**増田** 地域に根ざした消防署として地元の期待感は肌で感じますね。夕方、車両の点検、無線のテストをしますが、お子さんを連れたお母さんや多くの方が活動を見守ってくれて、隊員の励みにもなっていると思います。特に鳩ヶ谷分署時代は梯子車がなかったので、地域の皆さんにとっては注目的のようです。

**皆川** 車両出動時も住宅街の逆側となる県道側に車庫を設けることで、出動時のサイレン音などの騒音にも配慮しています。庁舎は植栽を多く整備し、屋上緑化と相まって地域環境との一体性も図っています。

お話を伺った川口市消防局、東消防署の皆さん



**時東** 東消防署の今後の展望についてはいかがでしょう。

**増田** 旧鳩ヶ谷分署は解体され、跡地には新たに車庫棟が完成します。また、特別高度救助隊も東消防署に配置され、それによって完成形となります。庁舎が開署した間もない現時点はあくまでスタート期であり、増隊した指揮隊、新設した管理課を効率的に運用し、24時間365日、市民の安全・安心のために、複雑多様化する災害への対応、安全なまちづくりの推進と市民サービスの向上に努めてまいります。

## 多発する地震、災害に備えて 危険物管理倉庫も万全を期して導入。

**時東** 日本は地震活性期を迎え、昨今は地震が多発しています。東消防署自体の危険物管理の安全対策への取り組みを教えてください。

**貫井** 部隊が使う資機材、例えばエンジンカッターなどの動力源はガソリンなどの燃料です。消防署が機能していても、車両に積載した資機材が燃料不足で使えないからマンパワーに頼るしかないわけで、消防署としては継続した活動を後押しするためにも、少量危険物施設の設置にあたっては耐震性、機能性を念入に検討し、棚標準装備の製品を導入しました。

**時東** 多種多様の危険物を扱う消防署ですから、保管体制も厳格かつ万全を期しているということですね。

**貫井** 多くの消防署では、車両に積載している燃料と、ある程度の予備は確保されているとは思います。災害の規模が大きくなればなるほど、社会から求められるのが、消防活動の継続性です。新生された東消防署では、危険物管理倉庫の運用に関しては隊員の機動力を継続的に支援することをミッションとしています。

**時東** いつ起こるかわからない、南海トラフ地震、首都直下地震の被害規模の大きさは計り知れないものです。復旧復興というレジリエンスの視点からも、危険物管理倉庫が果たすべき役割は大きいですね。



### 特別高度救助隊

川口市では政令指定都市で設置が義務化されている特別高度救助隊を、令和2年に中核市として初めて自主的に整備。首都直下地震や大規模水害など、通常消防力では対応が困難な救助事態にも迅速に対応する精鋭部隊が川口市全体の消防力向上に貢献。



### 特別消火隊

川口市では消防力中長期整備計画で掲げる「未来に繋げる三原則」を基本理念に、消火戦術に特化した高度な技術を有する隊員で構成した特別消火隊を令和5年4月1日に発隊した。この部隊は、当該計画の基本計画で定める「プロフェッショナルの育成」の一環として、組織全体の活性化と持続的な発展を図り、安全・安心な市民生活を守り抜くための組織体制の構築といった崇高な理念を掲げている。特別消火隊に課せられた主な任務としては、「新たな消火戦術の刷新及び活動戦術の普及を図ること。」しかし、その方針として、高度な教養と専門性ある人財及び部隊を育成するため、積極的に局内・外部研修に参加し、自ら研修を企画することで新たな視野の獲得と更なる専門領域の探求を図ること。としている。消火のプロフェッショナルとして相応しい「心技体」のすべてが求められるのが、川口市の特別消火隊である。

\*特別高度救助隊、特別消火隊とともに現在は北消防署に配置、令和6年度には市の中心部の地理的優位性を生かすために東消防署に配置変更を予定。

## 優れた耐震性と使用性で、危険物管理対策をサポート。



### ★堅牢で洗練された外観

- ◎肉厚鋼板の一体構造
- ◎収納力とデザイン性を両立

### ★コンパクト設計

- ◎機能的で、ゆとりの収納スペース
- ◎倉庫に入らず容器を取り出せる

### ★耐震のニーズに対応

- ◎地震による横揺れに強い耐震設計
- (設計水平震度2.0を標準化)

We Gaze The Earth  
CREATING OIL STORAGE TANK MAKER  
 ハイラギ  
株式会社 ハイラギ

〒344-0023 埼玉県春日部市大枝761-1  
TEL 048-738-2300 Fax 048-738-2301  
URL <https://www.tank-hiragi.co.jp>  
E-mail [info@tank-hiragi.co.jp](mailto:info@tank-hiragi.co.jp)

川口市  
東消防署で  
採用！